

# 決してあきらめないで 夢を掴んでください！

## ミラグロス・マルティネス・ドミンゲス さん

### 鈴鹿ポイントゲッターズ監督

1985年 スペイン生まれ

2007年 サッカー指導者の道へ

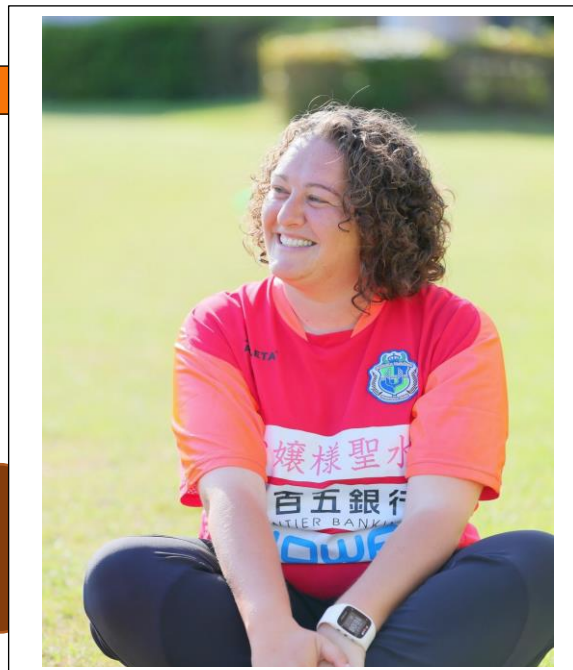
2018年～2019年

2019年～現在

アトレティコ・トメロソの女子チーム監督

鈴鹿ポイントゲッターズ監督

(旧：鈴鹿アンリミテッドFC)



#### 就任のきっかけとこれまでの道のり

スペインで生まれ、サッカー好きな両親のもと、兄弟3人小さな村で育った私は、物心がついた時から、自然とサッカーボールを蹴っていたのを覚えています。学生時代はサッカーに明け暮れて、国内選手として頑張ってきました。選手引退後は、コーチ・監督を務めました。一時は別の仕事も考えたことがありました。しかし、私は好きなサッカーを活かせる仕事がしたいと思いました。その後、女性サッカーチームの一部リーグ監督の話をいただき、サッカーの指導者になる夢が叶いました。

#### やりがい・喜び・苦労・これからの目標

私のサッカー人生で苦労したことを一つ挙げるとするならば、サッカーの世界では女性がチャンスを勝ち取ることが非常に難しいということ。

特にプロフェッショナルなレベルで言うと、男性監督が指導することが当たり前の世界で、女性に同等の知識・能力が備わっていても、それが活かしきれないという現実が今も残っているからです。

私自身、男性に対して負けない知識・能力を持っていると自負していますが、世の中の伝統や風習で認識されていないというのがあるのかなと思っています。

日本の社会には男女の格差があると聞いていましたので、今の自分の活躍を見てもらうことで女性にエールを送り、少しでも「夢」を追いかけている人の力になることが、私の使命だと感じています。

私の故郷スペインでも、男女の格差は同じようにあります。同等の立場でなければいけない女性が、手を挙げて何かをする時に、国が支援する制度や、サポートする文化が深まってほしいと思います。

#### 私からのメッセージ

自分がやりたいこと、志していることがあれば、たとえリスクを負ってでもチャレンジしてもいいのではないかと思います。上手いかずに大変な思いをすることもかもしれないけれど、スタートからの道のり、成長する過程の中で、目標に近づくためには、挫折を経験したりすることもあります。

性別にかかわらず、経験が人を大きくするので、是非とも挑んでほしいと思います。

私自身、日本に来て最初に選手とのコミュニケーションなど言葉の壁で苦労したこともありましたが、日本の文化や人の優しさ、温かさによく触れられたことで、人間的にも大きく成長したと感じています。決してあきらめないで夢を掴んでください。